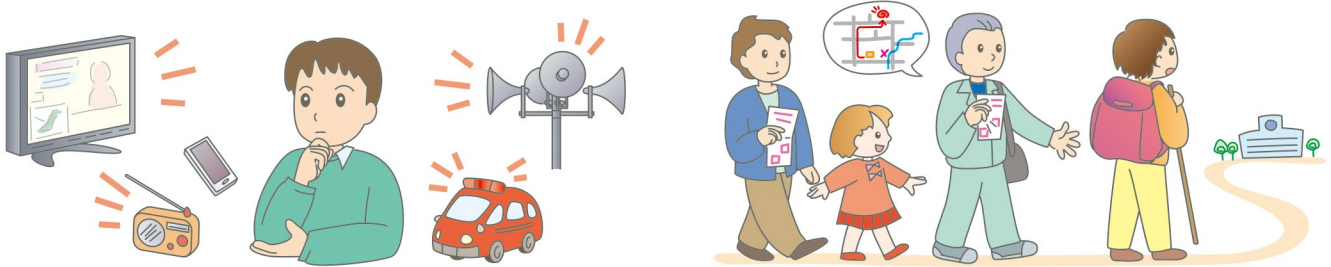


土砂災害・洪水ハザードマップの目的

ハザードマップは、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土石流やがけ崩れ、河川の氾濫などが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を示し、土砂災害や水害が予想される場合や発生した場合に、住民の皆さんが事前の準備や避難行動をとっていただくために作成したものです。日ごろから自宅周辺の危険箇所や避難行動について確認しておくとともに、気象庁が発表する気象情報や村が発令する避難指示等の情報に注意し、災害に備えましょう。



土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域とは

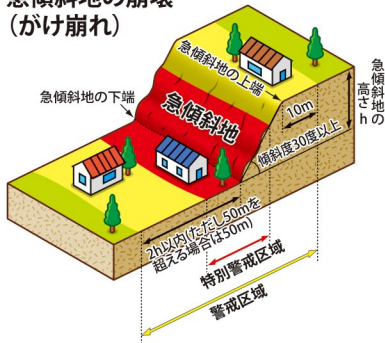
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

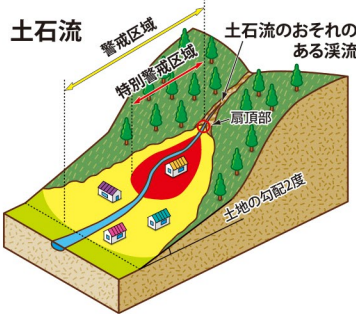
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



土石流



地すべり



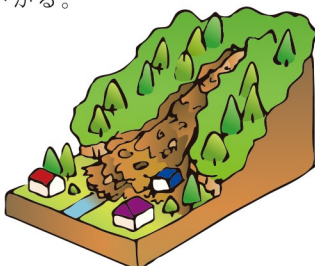
土砂災害(特別)警戒区域の公示図書は総務課や東京都西多摩建設事務所で見ることができます。

土砂災害の種類と前兆現象 こんな現象を見たら、早めに避難しましょう！

土石流とは

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。

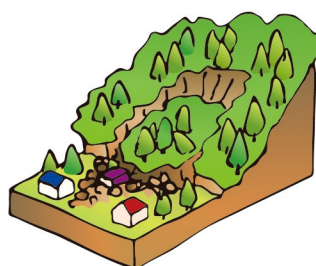
- 急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



地すべりとは

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。

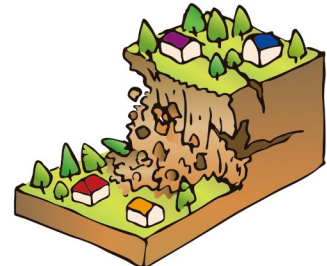
- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。



がけ崩れとは

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。

- がけに割れ目が見える。
- がけから水がわき出ている。
- がけから小石がぼらぼらと落ちてくる。



ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。